



「青春宣言！～魅せろ向陽魂～」文化祭を開催

9月11日、12日、天気予報では雨が予想されていましたが、当日はなんとか天気が持ちこたえ、文化祭を無事に開催することができました。一般の方々にも公開された今回の文化祭には、多くの来場者が訪れ、校内は終日賑わいを見せました。模擬店では、生徒たちが趣向を凝らしたメニューや装飾が来場者の目を引き、展示では各クラスのアイディアが光り、訪れた人々を楽しませてくれました。舞台発表では、各クラスによる劇に加え、吹奏楽部やダンス部などのクラブによる発表も行われ、多彩な演目が観客を魅了しました。特にクラス劇では、脚本作りから演出、演技までを協力して取り組む中で、生徒たちは互いを支え合い、友情や絆を深めることができました。そして舞台発表のフィナーレを飾った吹奏楽部の演奏は、会場全体を感動の嵐に包み、文化祭の締めくくりにふさわしい素晴らしいひとときとなりました。閉会式では、模擬店・展示・舞台発表など各部門の表彰が行われ、努力が讃えられる場面が見られました。最後は文化祭実行委員長の力強いかけ声で式が締めくくられ、生徒たちは達成感と充実感に包まれながら、大盛況のうちに文化祭は幕を閉じました。



「KOYOの力」を育む授業研究会

9月4日、教員の授業力向上を目的とした授業研究会を開催しました。授業では、「KOYOの力」として掲げる4つの力（K(気づく力)、O(起こす力)、Y(読む力)、O(教え合う力)）を意識しながら、生徒主体の学びを促進しています。授業開発のスローガンは、「生徒が主役の授業へ～全教職員で取り組む授業改善～」です。授業者は授業の見どころや工夫した点などを記入した「見に来て！シート」を作成し、参観者は授業の良かった点や気づいたことを「合い（愛）の手紙」に記して授業者へ渡すようにしています。本校ではこのような取り組みを通じて全教職員が協力し、より良い授業づくりに努めています。

また、当日は文部科学省が推進する「リーディングDXスクール事業」の一環として、生成AIをテーマにした授業も同時に公開しました。この授業の様子はテレビ和歌山の教育番組「はばたく紀の国」で、令和8年1月18日に放送される予定です。両方の公開授業には、県内外から約30名の教員や教育関係者が視察に訪れ、意見交換や研究協議を通じて、互いに学びを深める貴重な機会となりました。



向陽高校公式「note」を開設しました

向陽高校の情報はこちらでも発信しています。 <https://koyo-h.note.jp/>
♡スキを押して応援をよろしくお願いします。



